

## コミュニティの場を作る建築提案国際ワークショップ

| 実施期間                        | 実施国    | 共同実施機関 | 対象                                               | 参加者                                                              | 本学担当教員                     |
|-----------------------------|--------|--------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 2023年09月05日<br>～2023年09月12日 | フィンランド | アアルト大学 | ・環境システム学科、建築学科、建築学専攻<br>・学部2年生、学部3年生、修士1年生、学部4年生 | (芝浦工業大学)<br>学生15名、学生バイト2名、<br>教員2名、職員1名<br>(アアルト大学)<br>学生9名、教員2名 | 山代 悟(建築学科)、松下 希和(環境システム学科) |



図1 プレゼンテーション

SITとアアルト大学の学生の混成チームで、ヘルシンキ中心部からほど近いテルパサーリ島を敷地として、「進化的デザイン」という通常ソフトウェア開発に使われる設計手法を建築に応用し、設計をした。現地調査などからチームごとに特定の基準を設定し、AI イメージ生成ソフトウェアを用いて生成したイメージをその基準に照らし合わせながら発展させていくことで、通常では発想しえないようなデザインを導きだすことを試みた。SITの学生は英語でのコミュニケーションに加え、初めて試みる手法での設計ということで、チャレンジングではあったが、チームで懸命に取り組み、短期間で興味深い成果を得ることができた。AIイメージ生成ソフトウェアだけに頼った設計はまだ難しいが、AIを用いることで改めて設計の可能性が広がることが実感できた。ワークショップの間にはアルヴァ・アアルトを始めフィンランドの近代建築を見学する機会もあり、有意義な10日間となった。



図2 アアルト大学キャンパス見学



図3 ヘルシンキ市内見学



図4 AIが生成したグループの提案